人権尊重の明るい伊那市づくり審議会資料　　（生涯学習課）

令和元年度　社会人権同和教育推進事業報告

1　今年度の主な取り組み事例（社会人権教育に関わる講座　・講演会・大会・研修会等の事例）

(1)　伊那市人権同和教育講演会　　①主な内容 ②参加対象者 ③共催団体 ④参加者人数

日時	講座名	講師(氏名･所属等)・演題	内容の概要	成果と課題
11/ 6（水）	伊那市人権同和教育講座１	講師:森田　舞 さん(コーチングアカデミー長野校校長)　演題：『とにかく明るい性教育～パンツの教室』	①早期性教育を通じて命の大切さを理解 ②保護者、職員、地域住民等 ③共催：伊那小学校ＰＴＡ ④１００人	成果:性教育をするのになるべく早い時期がよいことを学んだ。 課題:平日開催で地域住民参加者が少ない。
11/16（土）	伊那市人権同和教育講座２	講師：坂田かおり　さん (部落解放同盟鳥取県連合会西部地区協議会　女性部部長) 演題：『いのち･語り･つながる同和教育』	①部落差別を中心にかかわってきた様々な問題を感じたまま語る。 ②地域住民、市民大学等 ③共催：市民大学 ④１５０人	成果:本当に部落差別の問題が理解でき、命輝いて生きることの大切さを学んだ。 課題：次年度土曜日開催
1 /18（土）	伊那市人権同和教育講座３	講師：伊藤ひより さん （シンガーソングライター） 演題:『glorieux～歌とともに生きる～』	①性的少数者として輝いて生きる姿 ②地域住民、保育士等 ③共催:保育協会、地区子ども育成会 ④３００人	成果:LGBT的心情に立つ語り歌を通じて個々の命の尊厳を学ぶ 課題：次年度土曜日開催
10/ 8（火）	伊那市新任職員研修	講師：後藤 美佐雄 さん (棚沢支部長) 演題：同和問題と差別の歴史･願い	①同和問題や同和教育に対する願い ②新任職員 ①　共催：総務課 ②　２６人	成果:差別のない社会の形成者として自覚してもらうための研修。 課題：今後も継続する。
2/20（木）予定	伊那市人権同和推進委員会	講師：竹中　俊　さん (手良公民館長) 演題:『私も輝けた　～美術クラブの活動を通して～　』	①個々がその子らしく輝く、人権同和教育の根底を支える自尊感情の育成 ②市推進委員、市推進協議会委員、関連7課市職員 ③共催：なし ④４０人)	成果:人権同和教育の根底となる大切な研修となった。 課題:時間的内容的にさらに深めたい。

(2)　公民館人権講座の開催内容

日 時	公民館	講　師	演　題　・　内　容	参　加　者
7/6（土）	手　良公民館	山岸　美雪 さん (一般社団法人おもちゃの木)	あなたは前向きに生きていますか	地域住民 １６人
9/11（水）	富　県公民館	平沢光子 さん (人権擁護委員)	生き生き暮らす 上手なご近所との関わり方、仕事から学んだこと	成人・高齢者・女性 １７人
11/11（月）	伊那公民館①	水野　直昭 さん (南信教育事務所主事)	身近な人権課題について アイスブレイク、ユニバーサルデザイン	女性・高齢者 ３３人
11/19（火）	美　篶公民館	久保田　文子さん (糸ぐるま代表者)	地元に伝わる民話・昔話と命、故郷	地域住民、女性 ２６人
11/19（火）	東春近公民館	湯澤　敏 さん (いーなガイド)	心のふるさと 東春近の方言・昔の歌の歌詞の意味・昔歌を唄う	民生児童委員、地区住民、公民館講座受講生　２７人
11/26（火）	伊那公民館②	水野　直昭 さん (南信教育事務所主事)	身近な人権課題について考えましょう アイスブレイク、ユニバーサルデザイン	高齢者・伊那おやじの会 ３８人
12/ 7（土）	西春近公民館	竹中　雅幸 さん (レクリェーション協会)	人間関係づくりに役立つコミュニケーションゲーム	一般参加、講座受講者 ５０人
12/15（日）	高　遠公民館	水野　直昭さん (南信教育事務所主事)	身近な人権課題についてみんなで考えましょう アイスブレイク、人権マップを見て考える	地区住民講座受講生 ４５人
2/1（土）	長　谷公民館	竹中　雅幸 さん (レクリェーション協会)	人間関係づくりに役立つコミュニケーションゲーム	地区住民　講座受講生 ２０人

2/18 （木）	西箕輪 公民館	城取　茂美 さん （福ﾚ療法師）	人間関係づくりに役立つコミュニケーション話術	地区住民 ４０人
2/18 （木）	西春近 公民館	上伊那視聴覚協議会 さん	認知症を理解し、支える家族の在り方を考える～ 映画ホーム・スイートホームを通して～	地区住民 ５２人

２　本年度の人権教育･啓発活動の取り組みの成果

(1)　人権同和教育取り組みの成果

① 学校人権同和教育

A 伊那市人権同和教育学習指導案(同和問題)に沿って、全小中学校で人権同和教育を実施できている。学習指導案修正により、人権同和教育の取り組みが向上している。

B 本年度も、伊那市人権同和教育学習指導案(H28)の増頁を作成した。

C 地域教材の教材化に向けて取り組んでいる。

B 新任職員研修会として部落解放同盟支部長のお話を聞く機会をつくることができた。このような研修を継続・拡大していきたい。

C 庁内の人権関係７課と連携して、7課会議を発足(男女共同参画)し、審議会への答申を行った。昨年度策定した「人権侵害・差別事象の発生時(相談)の対応図」及び「対応マニュアル」を確認した。

D 昨年度はじめて、LGBTについての研修を行うことができ、今年度はさらに広く市民向けに講演会を開催し、児童への啓発にもつながった（ひよりさんの生き方・歌に感動し講演会に小学生参加)。

(2)　啓発活動取り組みの成果

① 伊那市人権同和教育講演会を学校、市民大学、保育協会、地区子ども育成会と共催で３回(上記)開催し、多くの市民に参加していただくことができた。さらに多くの市民に参加していただける講師の選定や日程について検討していく。２講演会は土曜日開催とした。3回目は児童・保護者等かなり増員を図れた。

②講演会の広報を市報、プレスリリース、有線放送、ポスター・チラシで行うことを通して、多くの市民に周知するとともに、人権同和教育についての関心を高めることができた。

③生涯学習課で発行している広報紙(青少年育成)に各講演会の記事を掲載し、小中学校関係(児童・生徒・職員・家庭)、保育園(職員・家庭)、公民館(地区住民)、関係機関などへ配布し、人権同和教育への理解を深めることができた。

３　人権教育･啓発活動推進上の課題

(1) 差別解消３法への取り組みがあまり具体化されていない。講演会だけではなく、一般へのアピール方法を作成・実施していかなければならない。

(2) 児童虐待や配偶者などからの暴力、インターネットや携帯サイトによる人権侵害など新たな人権問題の指導が必要になってきている。適切な対応・指導について検討していきたい。

４　その他（市町村人権教育推進体制について、主催の指導者養成講座等の実施状況等）

(1) 人権同和教育担当者が毎月、支部長宅を訪問し、地区住民の様子について報告をいただいている。

(2) 本年度指導者養成講座は行っていないが、できるだけ早く実施するようにしたい。

指導者養成講座概要(案)

1　参加者…明るい伊那市づくり審議会委員、社会教育委員、公民館主事

2　講座内容…研修会(人権同和教育係による研修2、人権講演会3、同和研修1、県研修2、他)

3　認定…認定証⇒公民館講座の講師に活用

4　指導者養成講座を実施している市町村の情報収集を行う。